



うみ きり 海になぜ霧ができるの

霧のでき方は、いろいろ

霧はできる原因によって、でき方がいろいろあります。よく晴れた夜などに、地面が熱の放射によって冷え、地面に接する空気も冷えるためにできる霧を、放射霧といいます。海にできる霧は海霧といい、おもに、移流霧と蒸発霧によるものです。

水蒸気をふくんだ空気が冷やされると、霧ができる

冷たい海面の上を、暖かく湿った空気が流れていくときに、下から冷やされて霧ができます。これを移流霧といい、夏に北海道の太平洋岸などにできて、船の進路をさまたげたりします。

それとは反対に、海面が冷たい空気におおわれたとき、海面から蒸発する水蒸気が冷やされて霧ができます。これを蒸発霧といい、ふる場に立ちのぼる湯気のようなものです。冬、大陸からの冷たい季節風が、日本海（季節風に比べれば暖かい海面）をわたるときなどにできます。（監修・村山 貢司）

